

中学生国際留学プログラム事業



「子どもたちに豊かな国際感覚を身につけてほしい」と始まった中学生国際留学プログラム事業。英語検定3級を取得した南幌中学校生徒6名が、8月8日から21日までの2週間、カナダ・バンクーバーにおいて地元学校での英語レッスン及びホームステイ、アクティビティなど短期留学を行いました。

【ホームステイ、ホストファミリーと過ごす休日】

8月8日、生涯学習センターぽろろにおいて、出発式を行い、派遣生徒を代表してリーダーの松島雄之介君が「英語力を身につけ、自分を成長させる第一歩にしたい。」と決意表明を述べた後、南幌町を出発しました。

9時間の長いフライトでバンクーバー空港に到着し約1時間かけてトリニティウエスタン大学に向かいました。出迎えてくれたホストファミリーに、代表して伊藤那菜さんが英語で挨拶し、それぞれ各家庭へ。ホームステイのスタートです。



ホストファミリー宅は、皆さんとても気さくで、「滞在中はお母さんと思つて接してほしい」など、とても親切な方々でした。また各家庭とも、自分専用の部屋を与えられ、良い環境でのスタートとなりました。

ホストファミリーと過ごす休日は、教会やショッピング、航空祭を見に行くなど楽しく過ごしていました。

【語学レッスン】

平日の午前中は、トリニティウエスタン大学内にあるESLI(英語を母国語としない人向けの英語教育プログラム)による語学研修を行います。

初日は、日常の会話の中で、生徒たちの英語力を確認した後、大学キャンパス内の見学を行いました。カードゲームや外国のコメディ動画を見て英語に慣れさせ、その後、表現についての学習を行いました。初めは先生の話や質問を聞き取ることが難しかったです。



次の日、2回目の授業からは少しづつ理解し聞き取りできるようになっていきましたが、会話はまだ苦手な様子。日数が経つにつれ、積極的にコミュニケーションを取るなど生徒たちの意識は変わっていきました。

【アクティビティ】

平日の午後からは、「フォートラングレー」で砂金採り体験や、「ホワイトロック散策」、「チャイルドケアセンター訪問」

で2、4歳の子どもたちと交流するなど、さまざまなアクティビティを行っていました。



【さよならパーティー、帰国】

12日目の夜、全ホストファミリーが大学に集まり、さよならパーティーがスタート。ピアノの演奏やよさこいの披露、習字の実演など、一生懸命に感謝の気持ちを伝えました。別れが悲しく涙する生徒もいましたが、みんな自分の言葉でできることを精一杯やりとげました。ホ

ストファミリーも大変喜び、パーティーは大成功に終わりました。

帰国の日、港町ステイブストンに立ち寄り、バンクーバー空港に向かい、21時35分予定どおり新千歳空港に到着。家族の方々や松岡校長、デイビット先生に出迎えられました。

バスの中では到着するまで、途切れることなく14日間の思い出を語り合っていました。

【プログラムを終えて】

カナダに着いた初めの頃は、先生方の言葉が聞き取れず、話すこともできず、相当苦労したようです。

日数が経つにつれ、積極的にコミュニケーションを取るようになり、現地からは「みんな一人で海外生活できるレベルになっていきます。」との報告がありました。

カナダでの生活体験や現地の方々との交流は、一人ひとり楽しい思い出となり、将来国際社会で活躍する大きな第一歩になったと思います。参加した6名には、この貴重な経験を後輩たちへ伝え、後輩たちもまた意欲的に学習する、「きっかけ」になればと思うところです。

★生徒たちの報告★

初の海外inカナダ

3年 松島 雄之介
ましま ゆうのすけ

「自分を成長させる第一歩にしたい。」出発式で、僕は、緊張と不安の中、6人を代表し、こう挨拶をしました。

海外へ行ってみたいという僕の夢の一部がこんなに早く来るとは…。本当に楽しかった！多くの貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。2週間の留学は一言でいうと、「短い」という感想です。僕は、毎日がとても楽しくてまだまだカナダに残ってみたいかったです。



バンクーバーに到着し、見るものすべてが新鮮で、驚きと同時に「カナダに来た」という実感が大量に湧いてきました。僕のホームステイ先は、隣のアポツフオード。学校まで高速道路で約20分位のところでした。まずは、ホ



ストファザーのトーマスに挨拶すると、すぐにクリステイーナに近所の家のパーティーに連れて行かれました。来たばかりの僕にとつては第一の難関となりましたが、クリステイーナや他の人もゆつくり話しかけてくれ、会話が通じたので楽しく過ごることができました。

第二の難関であった最初の休日は、航空祭へ連れて行ってもらいました。2日間英語を聞き取るのが大変でした。

平日の大学ではだいたい英語に慣れ、先生も優しく、楽しかったです。保育園に行つて小さい子とふれ合うこともあり、たくさん話して、たくさん遊んでかわいかったです。

最後の休日、日本から持参したカレールーで、カレーを作りました。おかわりもし

てくれて、気に入ってくれました。少し勇気が必要なことでしたが、やってみると喜んでくれたのでとても嬉しかったです。僕にとつては成長の第一歩になったと思います。

困ったことがあっても、とても優しく、わからない言葉も言い方を変えて教えてくれたので勉強になりました。

僕がこの2週間、カナダの文化や普段の生活、日常で使う英語などはもちろん、優しい感情を学びました。このようなことを次に活かしたいです。

カナダで過ごした私の感想

3年 益子 竜駆
ますこ りゅうく

中学生国際留学プログラムの事業に参加させて頂き、沢山の学び、楽しみ、沢山の人のコミュニケーションなど、日本では中々できない貴重な経験をさせて頂きました。

睡眠があまりとれない状態のまま無事に長いフライトを終え、カナダバンクーバー国際空港に着きました。

空港から外へ出た時の空気はとても新鮮でしたが、日本と比べて寒かったです。

大学に着き、ホストファミリーと対面するのを楽しみに待っていました。そして、私のホストファミリーはサビニアノさん一家でした。家まで向かう時のわくわく感は今でも忘れてません。

翌日は、家族みんなでショッピングに行き、とても楽しい休日でした。

授業は英語がわかりやすいように工夫された楽しい授業でした。授業



は基本午前中のみで、午後からはアクティビティという、観光したり遊んだり、物を作る体験等をする活動をしました。その中で一番楽しかったアクティビティは、ホワイトロックビーチに行ったことでした。ホワイトロックの上に乗る、写真撮影後、ビーチで泳ぎました。海水がとても冷たい中、一人で泳いでいました。

ホストファミリーと過ごして一番楽しかったことは、親戚の子どもの誕生日パーティーをやったことです。

パーティーに参加した人は全員ホストファミリーや親戚でしたが、人数が30人近くもいたので、パーティーはとても賑やかでした。

カナダへ行って困ったことは、これといってありません。なぜなら私は何かしてほしいことがあつたらすぐに言っていたので困ったことは無かったです。

あつという間の14日間でした。帰る日の前日は、明日もうお別れだと思つと、とても寂しくて、正直帰りたくありませんでした。でも、いつかまたカナダに行きたいです。

あと、このレベルアップした英語は無駄にできません。今後将来に向けて英語を有効に活かしていきたいです。今回は有意義で貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



★生徒たちの報告★

カナダ短期留学を終えて

3年 阿部 凜紗

出発の日、ドキドキしながら出発の挨拶をし、たくさんの方に見送られながら千歳空港へと向かいました。バンクーバー空港に着いてみると、標示が全部英語だったので、空港内の人がみんな外国人だったりと、その時外国に



来たのだと初めて実感しました。その後、大学に行き、今回私がお世話になったアイリーンと初対面しました。とても優しく、気さくな人で、この人とならやっというけそうだと思います。アイリーンの家に向かう途中、私は車酔いしてしまいました。その際アイリーンは、スーパリーによって飲み物を買ってきてくれて、優しく対応してくれました。そのことについて謝ると、「今は私

しました。

休日が終わり、いよいよよとりニティウエスタン大学の英語が始まりました。レッスンは、レスリー先生が授業をしてくれました。すべて英語だったのでとても大変でしたが、私達が理解するまでずっと説明してくれましたので理解することが出来ました。

アクティビティは、フォートラングレーでカナダの歴史を学んだり、メトロタウンで買い物したりと色々な経験をしました。その中でも、バンクーバーでの買い物や観光が特に印象に残りました。

最終日にさよならパーティーがあり、終わりに近づくと泣きそうになりました。パーティーが終わり、家に帰る途中、アイリーンがトミー



を忘れないようにと犬のぬいぐるみを買ってくれました。私はとても嬉しく、ずっと忘れないでいようと思いましたが、2週間は長いよう

で短く、お別れの時はもうお別れなのかと思うほどでした。しかし、アイリーンに「うちの子にならないか。」と言われたのは本当に嬉しかったです。

2週間滞在してカナダが大好きになりました。この短期留学で学んだたくさんの事は一生忘れません。今回は貴重な経験をさせていただき、感謝いたします。

カナダ留学を終えて

3年 伊藤 那菜

カナダに行くにあたって自分の課題は「ホームステイで日本との文化の違いを知ること。」と「研修にて語学力を身に付けること。」でした。

初めての国際線でバンクーバー国際空港に到着した



後、大学でホストファミリーと対面しました。ホストマザーのリサと愛犬のベイリーが迎えに来てくれました。家には自分の他に韓国人の留学生が2人居て驚きました。

研修した大学はとても綺麗で、英語を教えてくれたラズリー先生はとても優しく話してくれました。授業では、発音の練習や英語の歌を歌ったりしました。先生が教えてくれたカードゲームがとても楽しかったです。

基本、毎日の日程としては、午前は大学でレッスンを受け、午後からはアクティビティです。一番楽しかったアクティビティは国境公園に行ったことです。アメリカとカナダの国境をまたいでいる公園で、少しだけみんながアメリカに入りまし

た。バンクーバー観光で印象に残ったのは、ギャスタウンにある蒸気時計の音が鳴るのを見たことです。これは15分に一度しか鳴らないので聴いた時はとても感動しました。

カナダに来て驚いたことがあります。カナダは夜の9時くらいまで夕方の様に



明るいことです。

楽しい日々はあっという間に過ぎ、さよならパーティーの日となりました。司会を任せられ、準備の段階から成功するか不安でしたが、それぞれ習字やダンスなどの特技を発表したり、歌を歌ったりして盛り上がりました。パーティーの後、ラズリー先生とハグした後は、泣きそうになりました。

カナダで過ごした2週間は長いようで短く感じました。何かしてもらおう度、どこかに連れて行ってもらう度に「ありがとう」と言うとき喜んでくれました。あと、自分の気持ちを伝えることも大切だと思いました。

今回カナダ留学で経験したことは忘れられないものとなりました。ありがとうございました。

★生徒たちの報告★

カナダで学んだこと

3年 稲元 菜月
いなもと なつき

中学生国際留学プログラム事業に参加し、数多くのことを学ぶことができました。



トリニティウエスタン大学に着き、これから学ぶという意欲が湧きました。ホストファミリーとの車の中で、英語で質問され、何と言っているかわからないこともあり大変でした。家に着くとホストファミリーのブライアンが迎えに来てくれました。陽気で面白くて気さくな人で心がホッとしました。

次の日、ショッピングに連れて行ってもらいました。ドンナに「何がほしいの?」と言われ、「ほしいものがあったら買う。」と言うと、「それじゃあ来た意味がないじゃない。」と言われ、「一着買いました。その時私は、きちんと英語で自分の意志を伝えるのは大切なことだと学びました。」

3日目の夜、台湾の女の子が、留学プログラムから帰ってきました。シェンナンは、私よりも英語が上手で、ホストファミリーとの会話もはずんでいました。私はなんとなく、その場に居づらくなり部屋に戻りました。その日に初めて、この先大丈夫かなど不安な気持ちになりました。

翌朝、1階へ行くと、シェンナンが「ハロー」と優しく声をかけてくれました。その一言で、私のシェンナンに対する印象が変わりました。お互い日本と台湾で国が違うので会話がものすごくはずみました。

アクティビティでは、キャンパス内でみんなでクッキングをしたり、フォートラングレーに行ったり、ショッピングしたり、ホワイトロックへ行ったりと盛りだくさん



でした。バンクーバー観光では、ギヤスタウンでシンボルの時計を見たり、商店街でショッピングなどをして楽しみました。

カナダは、気候が北海道と似ていたり、自然や町並みが美しく、食べ物も美味しくて、とても魅力的なところでした。そして色んな人たちと出会い、英語の素晴らしさを学ぶことができました。

今後、もっと英語を勉強して色々な国へ行つて、さらにグローバルな人間になりたいです。

国際留学を終えて

3年 川平 彩夏
かわひら あやか

私がカナダで成長したことは二つあります。一つ目は、コミュニケーション力です。

もともと初対面の人の会話などが苦手で、カナダでは会う人全員が初対面



の人で、日本語も全く通じないという環境だったので、初めは不安ばかりでしたが、会話や返事をしないと相手に私が何を思っているのかは分らないので、少しずつコミュニケーションをとっていききました。

二つ目は、英語を聞く力が伸びたことです。カナダでは聞こえる音がすべて英語で最初はワクワクしていたけど、ホームステイ先に行くなり、お風呂やトイレなどの説明をされて何がなんだか分からなくて、何度も説明してもらいました。最初は何回も聞きなおしていたことが、帰る頃には一度で聞きとれるようになりました。これからは、この力が衰えないように、ALTの先生とたくさん会話をしたいと思えます。

次に、カナダでの生活についてです。私のホストファミリーは、いつも陽気なファミリーと、とても優しく料理上手なマザー、ゲームが大好きで優しいブラザーととてもかわいいういスターの四人でした。2日目、緊張しっぱなしで食欲もなかったのですが、素直にマザーに相談すると

心配しなくてもいいよと言ってくれて安心しました。平日の午前は大学で英語のレッスンをし、午後にはアクティビティの授業で色々なところに行きました。ホワイトロックという大きな岩がある海に行ったり、大きなショッピングモールに行ったり、バンクーバー観光に行ったりしました。

日本との文化の違いで驚いた事は誕生日です。ステイ中にホストファミリーの誕生日があり、サプライズでたくさんのお祝いがありました。また、グランドマザーとグランドファザーが社交ダンスをしてびっくりしました。まるで、映画の世界のようでした。

このカナダでの2週間はとても内容の濃い充実した期間になりました。



※生徒たちの報告文は、紙面の都合上原文を短縮しています。原文は町HPまたは情報コーナーで閲覧できます。